

令和8年度 北辰中学校ひまわり分校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：32081

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇退院時の学校評価アンケートから、「目標をもって学習に取り組むことができた」「学習の遅れを取り戻したり、苦手な教科に取り組んだりすることができた」生徒の割合が9割を超える高い評価を得ている。</p> <p>◇個別学習における効果的なICTの活用、課題解決学習を取り入れた授業の構築、個に応じた、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を目指した授業づくりを積み重ねた結果と考える。</p>	<p>◇治療や体調等により学習意欲を持続することが難しいため、意欲を継続するための工夫や、学習の遅れを克服するための学習内容の充実を図る必要がある。</p> <p>◇学年や入院期間、学習進度の違いから個別授業が主となり、意見を交流できる場面が少ないため、ICT等を利用し、対話によって思考を再構築する場面を設定する。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇病気やけがによる入院で自信を失い、自己承認が低くなっている生徒がいると感じる。学級活動や児童生徒会活動、異学年交流（小学校との合同授業や集会等）を通して、子ども同士による相互評価の場を設定し、入院中であっても、自己肯定感、自己有用感をもてるよう支援し、退院後の生活に繋げていきたい。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自ら問題を解決し、自ら学ぼうとする力

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>◇実態に合わせた効果的な学び、「分かる、できる、楽しい」授業づくりの充実</p> <p>(1)学習の見通しや単元や題材の見通しをもち、<u>課題を自分ごととして捉え、自ら考え選択しながら、学びを進められるような教材教具の選定や作成。</u></p> <p>(2)ICTを効果的に活用し、学ぶ意欲を高め、学習の遅れを克服することができる学習内容の充実や学んだことを発揮する成果発表の場の設定。</p> <p>(3)中継授業(他校の院内学級や外国の人々)や総合的な学習の時間、小学校との合同授業(体育・音楽、美術、自立活動)で<u>意見交流しながら多様な他者との協働による学びの場の設定。</u></p>	<p>①よりよい学校にするための学級活動、児童生徒会活動の充実</p> <p>→一人一人の意見を尊重し合い、やり遂げた達成感を実感し、協力しながら活動する学級活動や委員会活動、集会活動の実施。</p> <p>→活動を振り返り、意見を反映させる場の設定</p> <p>②「子どもの声や実感」を学校づくりに生かす取組。</p> <p>→共通指標アンケートや学校評価アンケートをもとに、<u>子どもの思いや願いを把握し学校運営に反映させる。</u></p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
<p>◇(1)病室とのオンライン授業ではGoogle Meetやオクリンクプラスを利用しながら学習を進める。(2)Google スライドやドキュメントを利用し、子どもたち学んだことを発揮する場を設ける。(3)zoomを利用した中継授業を行う。②Google Formsで子どもの意見を集約し、学校運営に反映させる</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

